

過去最多出品酒数 1,919 点の日本酒が大集結！

「SAKE COMPETITION 2019」予審を開催 国内から413蔵、海外から6か国13蔵28銘柄が出品

審査結果は、6月10日(月)の表彰式にて発表！！



「SAKE COMPETITION(サケ コンペティション)」実行委員会は、世界最多出品酒数を誇り世界一美味しい市販日本酒を決める品評会「SAKE COMPETITION 2019」の予審を、5月14日(火)に東京都立産業貿易センター 台東館にて開催しました。

今年度のSAKE COMPETITIONは、「純米酒部門」、「純米吟醸部門」、「純米大吟醸部門」、「吟醸部門」、「スパークリング部門」、「Super Premium部門」、「海外出品酒部門」の全7部門で審査を実施。日本国内のみならず、アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル・スペイン・ニュージーランドといった世界各地からも出品され、昨年の出品総数を大幅に上回る1,919点となりました。予審会の審査では、全国の技術指導の先生を始め、推薦で選出された日本酒の蔵元で構成された“日本酒業界の精鋭”審査員48名が審査を実施しました。

SAKE COMPETITION 2019の審査員である株式会社新澤醸造店 新澤巖夫氏は、今年度の出品酒について感想を問われると、「全出品酒の審査を終えて、出品日本酒の品質が、年々上がってきていると感じました。日本酒の出来が、レベルアップしているのは間違いないです。決勝まで残る上位の日本酒は相当混戦し、どこが受賞するか楽しみです。」と出品酒のレベルの高さを評価するコメントを残しました。

「SAKE COMPETITION 2019」の審査結果は、本年6月10日(月)にザ・ペニンシュラ東京にて開催する表彰式で発表を行います。また、表彰式後には、授賞パーティを開催。このパーティでは一般の皆様も参加でき、ザ・ペニンシュラ東京の一流シェフが腕をふるうスペシャルディナーと受賞酒を始めとする最高峰の日本酒とのペアリングをお楽しみいただけます。(チケット購入先：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01qtx9106wt58.html>)

■特別協賛



JAPAN AIRLINES

■協賛



■ホテルパートナー

THE PENINSULA
T O K Y O

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】
SAKE COMPETITION 2019 PR 事務局 (サニーサイドアップ内)
担当: 高野(070-1503-6589)、吉松
TEL: 03-6894-3201 FAX: 03-5413-3050 E-mail: sakepr@ssu.co.jp

【イベント概要】

名称：SAKE COMPETITION 2019 (<http://sakecompetition.com/>)

日時：2019年5月14日(火) 予審 10:00~15:00

主催：SAKE COMPETITION 実行委員会

会場：東京都立産業貿易センター 台東館 4F 展示室 (東京都台東区花川戸 2-6-5)

《SAKE COMPETITION 2019 審査員コメント》

【株式会社はせがわ酒店 長谷川浩一】

■今年度の出品酒に関しての出来栄はいかがでしたか？

「あえて厳しいことを言うと、今年は難しい年だったのかなと感じました。審査員としては、出品されている日本酒の結果でしか判断できませんが、酸が出過ぎている日本酒が多かった印象を受けました。ただSuper Premium部門に出品している日本酒は面白いお酒が集まっており、出来の良さを感じました。」

【株式会社新澤醸造店 新澤厳夫】

■今年度の出品酒に関しての出来栄はいかがでしたか？

「全出品酒の審査を終えて、出品日本酒の品質が、年々上がってきていると感じました。日本酒の出来が、レベルアップしているのは間違いないです。決審まで残る上位の日本酒は相当混戦し、どこが受賞するか楽しみです。」

【広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター 大土井律之】

■今年度の出品酒に関しての出来栄はいかがでしたか？

「オフフレーバーといわれる好ましくない香りがする日本酒が減ってきていると思います。各酒蔵の技術が、年々上がってきており、より美味しい日本酒が増えてきています。」

【Sake World Inc ジョン・ゴントナー】

■今年度の出品酒に関しての出来栄はいかがでしたか？

「落ち着いたある出品酒が多かった印象を受けました。香りだけでなく味わいがまとまっており、日本酒全体にまとまりがあるお酒が多かったです。」

《中田英寿コメント》

■今年のSAKE COMPETITIONの審査をご覧になっていかがでしたか？

「回数を重ねるごとに、審査する方々の顔ぶれも変わってきて、審査も厳しくなっているかなと思います。」

■実際にSuper Premium部門のお酒を試飲された感想をお願いします。

「今年の傾向としては、非常に厳しい年だったとは思いますが、酒蔵も試行錯誤して仕上げてきていると感じました。各酒蔵も様々な方法で工夫しているが、海外でも日本酒が定着し、一般消費者の目も肥えてきている中で、どのような日本酒が伸びてくるかが楽しみです。そして、各酒蔵の今後の酒造りも楽しみです。」

■特別協賛



■協賛



■ホテルパートナー



【出品歳数】 426歳

都道府県	出品歳数
北海道	1
青森県	5
岩手県	8
宮城県	19
秋田県	17
山形県	26
福島県	26
茨城県	12
栃木県	16
群馬県	7
埼玉県	7
千葉県	5
東京都	5
神奈川県	4
新潟県	23
山梨県	2
長野県	18
富山県	4
石川県	7
福井県	5
岐阜県	9
静岡県	13
愛知県	10
三重県	13

都道府県	出品歳数
滋賀県	8
京都府	13
大阪府	1
兵庫県	19
奈良県	9
和歌山県	3
鳥取県	3
島根県	6
岡山県	7
広島県	15
山口県	9
徳島県	1
香川県	2
愛媛県	10
高知県	13
福岡県	9
佐賀県	9
長崎県	3
熊本県	5
大分県	5
宮崎県	1
鹿児島県	-
沖縄県	-
海外	13

【出品酒総数】 1,919 点

部門	出品酒数
純米酒	495
純米吟醸	578
純米大吟醸	480
吟醸	206
Super Premium	64
スパークリング	68
海外出品酒	28

■特別協賛



JAPAN AIRLINES

■協賛



■ホテルパートナー

THE PENINSULA
T O K Y O

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】
SAKE COMPETITION 2019 PR 事務局（サニーサイドアップ内）
担当：高野(070-1503-6589)、吉松
TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：sakepr@ssu.co.jp